

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の効果事例

1-1 流域治水対策（河川）

ダム建設の事例（柏崎市 二級河川鵜川水系鵜川）



位 置	左岸 新潟県柏崎市大字清水谷 右岸 新潟県柏崎市大字清水谷
形 式	中央コア型ロックフィルダム
堤 高	55.0 m
堤 頂 長	267.0 m
堤 体 積	944,000 m ³
非越流部標高	EL 174.0 m
集 水 面 積	30.3 km ²
湛 水 面 積	0.44 km ²
総 貯 水 容 量	4,700,000 m ³
有効貯水容量	3,180,000 m ³
常 時 満 水 位	EL 161.5 m
サーチャージ水位	EL 169.2 m
設 計 洪 水 位	EL 172.0 m
常 用 洪 水 吐	オリフィスによる自然調節 H3.35m × B4.65m × 2門
非 常 用 洪 水 吐	クレスト自由越流 H2.80m × B65.00m × 1門
計 画 高 水 流 量	300 m ³ /s

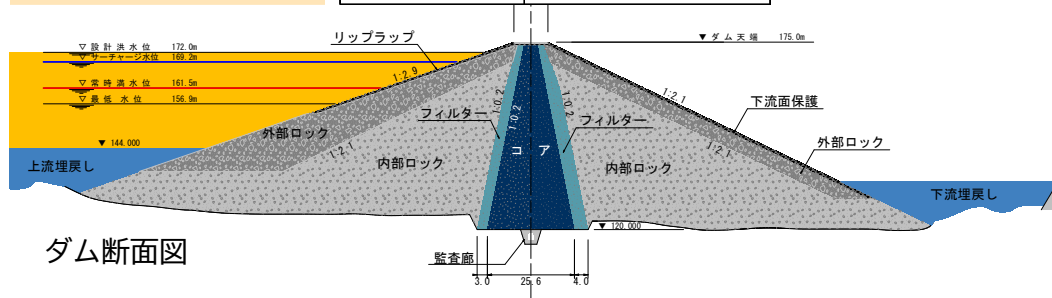


令和2年4月撮影



令和8年5月撮影

- ダム地点の計画高水流量300m³/sの内、110m³/sの洪水調節を行います。
- ダムサイトの地質には基礎岩盤に軟弱層が介在し、堅硬な地質ではないため、岩石類を積み上げて造るロックフィルダムを採用しています。

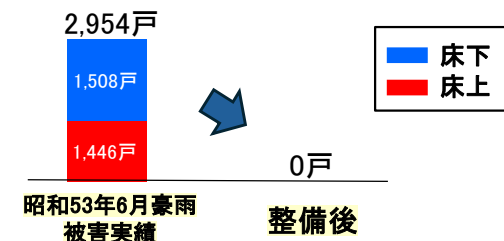


ダム断面図



昭和53年6月豪雨と同規模の洪水に対して浸水被害を解消

被災状況（柏崎駅前付近）



昭和53年6月豪雨
被害実績

整備後

○対策の効果

- 鵜川流域では度々水害が発生しており、昭和53年6月の水害では浸水家屋2,954戸、浸水農地1,569ha、被害額52億円の被害を受けました。
- 流域における洪水被害の軽減、既得農業用水の安定化及び河川環境保全等を目的として、鵜川ダムを建設しています。
- 令和9年度の完了を目指して工事を実施しており、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」によって堤体盛立や基礎処理、洪水吐などダム本体工事を推進し、早期の治水安全度の向上に向け、着実に取り組みを進めました。